

12月のみどころ



散策路のイチョウ

新宿御苑の紅葉もいよいよクライマックス。黄金色に色づいたイチョウが、園内各所で鮮やかなじゅうたんを作り上げます。

散策路では色づいた葉をつけた枝が、大きなアーチを作っています。まるで絵筆でキャンパスに黄色い絵の具をのせたよう。行き交うみなさんも映画のワンシーンのようにロマンチックです。

12月上旬



モミジ山のカエデ

新宿御苑の紅葉のラストを飾るのは、下の池そばのモミジ山。その名の通り、大木のカエデ類が枝を広げる、里山のような雰囲気のエリア。小高い丘全体が燃え上がるように色づきます。

足元には鮮やかな落ち葉のじゅうたんが一面に広がり、見上げると木々が空を包み込むかのように、大きく枝をのばしています。

12月中旬

紅葉のみどころ



日本庭園のカエデ



新宿門そばのカエデ



イチョウ

カエデ類 12月上旬
日本庭園、モミジ山、新宿門そばほか各所

イチョウ 12月上旬
イギリス風景式庭園、散策路ほか各所

紅葉の時期は例年の平均です。天候等によって変化します。



イギリス風景式庭園のスイセン

葉を落とした桜の落ち葉の間から、ずっと茎をのばしたスイセンの花。純白の花は房咲きのペーパーホワイト、花の中央が黄色いのがニホンズイセンです。新宿御苑では、例年年末から年明けにかけて、この寒咲きのスイセンがつぼみを開きます。

冬木立に凛と咲き誇る姿は、これからやってくる冬という季節をあらわしているようです。

12月中旬



イギリス風景式庭園のカンツバキ

イギリス風景式庭園の園路沿いの植え込みの中で、深緑色の葉の間からカンツバキの花が顔をのぞかせています。

カンツバキはツバキ科の常緑低木。サザンカとツバキを交配した園芸品種です。花の形から獅子頭（シシガシラ）の別名もあります。

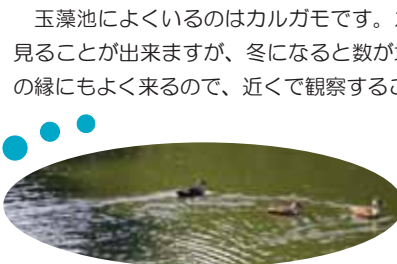
鮮やかな紅色の花は、冬の園内にあたたかさをそえているようです。

12月下旬



バードウォッチングを楽しもう!

冬になると新宿御苑の水辺や緑地を求めて、たくさんの冬鳥がやってきます。今回は新宿御苑でこの時期、見られる水鳥たちを紹介します。



カルガモ



玉藻池



日本庭園（上の池）

日本庭園の上の池は、オシドリなど渡り鳥の越冬地となっています。池の奥では、羽を休めるオシドリの一群を観察することができます。



キンクロハジロ

鮮やかな羽色がオスです



オシドリ

その他にも、マガモやキンクロハジロ、カイツブリなど様々な野鳥が、都会に残された貴重な水辺と緑を求めて新宿御苑にやって来ます。

冬の新宿御苑は、冬鳥を観察する絶好の季節。

都会のまんなかにもこんなにたくさんの水鳥が！という驚きと感動が得られるかもしれません。この冬は野鳥の観察をはじめてみませんか。

入園のご案内

【開園時間】 9:00~16:00 (閉園は16:30)

【休園日】 毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日~1月3日)

【特別開園】 春: 3月25日~4月24日、秋: 11月1日~15日 (期間中は休まず開園)

【入園料】 一般200円(150円)、小・中学生50円(25円) ()内は30名以上の団体割引
身体障害者および療育者と介助者1名の入園は無料です(手帳をご提示下さい)

- ◆ 車椅子貸出し: 各入園門及び管理事務所で貸し出しています(当日受付・無料)
- ◆ 補助犬も入園できます

【駐車場】 利用時間 8:00~20:00

- ◆ 普通車 200台 3時間まで 500円 以後30分毎 100円
- ◆ 大型車 5台 3時間まで 2000円 以後30分毎 400円

新宿御苑はみなさまの庭園です。以下のことはご遠慮ください。

- ・遊具の使用
- ・アルコール類の持込
- ・楽器の演奏
- ・火気の使用
- ・動植物の採取と持込み
- ・動物への給餌
- ・指定場所以外での喫煙
- ・管理区域及び立ち入り禁止の看板のある柵内への立ち入り

マナーを守って気持ちよくご利用くださるようご協力お願いします。

環境省 新宿御苑管理事務所
〒160-0014

東京都新宿区内藤町11

電話 03 (3350) 0151

FAX 03 (3350) 1372

http://www.env.go.jp/
garden/shinjukugyoen